

# くすりのしおり

内服剤

2020年03月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 商品名：グラセプターカプセル 0.5mg

主成分：タクロリムス水和物(Tacrolimus hydrate)

剤形：淡黄色/だいたい色のカプセル剤、全長 11.0mm

シート記載：（表）グラセプター0.5mg、647、（裏）Graceptor 0.5mg、グラセプター0.5mg、社マーク、タクロリムス、徐放性、免疫抑制剤、アステラス製薬



## この薬の作用と効果について

サイトカインと呼ばれるタンパクの中でも、移植後拒絶反応に関わる因子を抑えることにより拒絶反応を防ぎます。

通常、移植後（腎・肝・心・肺・脾・小腸・骨髄）の拒絶反応や移植片対宿主病（骨髄移植のみ）を抑えるために用いられます。

## 次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。感染症、腎障害、肝障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・腎移植：通常、移植2日前より1回タクロリムスとして0.15～0.20mg/kgを1日1回朝服用します。以後、症状により適宜増減されます。  
肝移植：通常、術後初期に1回タクロリムスとして0.10～0.15mg/kgを1日1回朝服用します。以後、症状により適宜増減されます。  
プログラフ経口製剤から切り換える場合（腎移植、肝移植、心移植、肺移植、脾移植、小腸移植、骨髄移植）：通常、プログラフ経口製剤からの切り換え時には同一1日用量を1日1回朝服用します。  
本剤は1カプセル中にタクロリムスとして0.5mgを含有します。いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時できるだけ早く1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・感染しやすくなりますので、手洗いやうがいを行い、規則正しい生活を心がけてください。
- ・グレープフルーツ（ジュース）は、この薬の作用を強めることがありますので、これらを一緒に飲食することは避けてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬の作用を弱めることがありますので、これらを一緒に飲むことは避けてください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腎障害、血圧上昇、振戦（手足の震え）、感染症、糖尿病などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・尿量が減る、全身のむくみ、のどの渇き [急性腎障害、ネフローゼ症候群]
- ・動悸、息切れ、胸が苦しい、全身のむくみ、胸痛 [心不全、不整脈、心筋梗塞、狭心症、心膜液貯留、心筋障害]
- ・けいれん、意識障害、言語障害 [可逆性後白質脳症症候群、高血圧性脳症、進行性多巣性白質脳症（PML）などの中枢神経系障害]
- ・頭痛、一時的な意識障害、手足の片側の麻痺 [脳血管障害]
- ・呼吸困難、息苦しい [呼吸困難、急性呼吸窮迫症候群]
- ・発熱、全身倦怠感、かぜのような症状 [感染症]
- ・口渇、多飲・多尿、疲れやすい [糖尿病および糖尿病の悪化、高血糖]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法 その他**

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。
- ・予防接種は、医師の許可なしに受けしないでください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。